



2021年をふりかえり 私の5大ニュース

(1) 市議選で再選 共産党議員が2名に



4年ぶりに複数議席を回復することが出来ました

共産党議団として議会運営委員会にも正式会派として参加し、発言もできるように。

大井議員と力を合わせて2倍以上の力が出せるように請願の紹介議員、議運への意見書案の提出など積極的に励んでいます。

(2) 衆議院選挙 野党統一候補が自民党候補者を破る

小選挙区で立憲民主党小山のぶひろさんを国会に送ることができました！

共産党は10名の当選でした。来年夏の参議院選挙に向けて公約の実現のためにがんばります。

(3) コロナ対応に奔走

市内のワクチン2回接種終了率は89.1%。予約や接種方法などところどころ変わる国の方針に自治体は翻弄され続けました。

緊急事態宣言下市内でも感染の拡大で医療体制が逼迫。自宅療養者や宿泊療養者も出て予断を許さない事態に。店の閉店や撤退が続く市内でも大きな影響が。

市への緊急提案を出したり、議会に対しての説明を求めたりしました。

「誰ひとり取り残さない支援」にはなっていないのが腹立たしいし、コロナ禍は社会保障や医療費の削減と新自由主義のもと格差と貧困を広げ

た自公政権が起こした人災の側面があると思います。



共産党の「感染症対策に関する緊急提案」を市長に申し入れ

(4) オンラインで勉強 生活相談や質問につなげる

各地での研修や視察に行けず、イベントの参加がなかった分、じっくり本を読んだり、オンラインでの研修に参加し勉強しました。生活保護、SDGs、地域循環型経済、住宅政策などの質問や提言につなげています。

(5) しほこ通信200号突破 毎週の駅頭宣伝を続ける

お便りの発行と配布も4年半になります。駅での宣伝活動も協力を得て続けてこられました。「今まで知らなかった議会の内容も分かるようになったよ」などの言葉に励まされます。

25本中5議案に反対しました

11月定例会が終了しました。

マイナンバーカードの推進やデジタル化で情報を集めていくシステム改修費が組み込まれている補正予算と、指定管理(ならここの里、市営住宅 2カ所)に反対しました。

ならここの里は2年以内の民間譲渡を目指して地域への指定管理期間を2年に短縮提案です。税金で建てた施設をどんどん民間譲渡でいいのでしょうか。

また県に対して「横須賀高校の存続を求める意見書」が採択されました。

高齢者の通院や買い物へ タクシー利用に補助が

バス停までが遠い。本数が少なくして使い勝手が悪い、といった声の多い路線バス。

後期高齢者のタクシー利用に半額(上限1000円)の補助が。お達者半額タクシー実証実験が行われます。

対象

期間

1/4～3月末まで

具体的内容

平日午前8時～午後5時まで
目的が市内の医療機関や買い物先など

・掛川タクシー(22)3231
・ライフタクシー(21)0909
「お達者半額制度」利用を伝えて予約し、利用する際に助成券に記入します。



お正月を前に水仙が咲きました